【助産診断・技術学】

科目名	助産診断・技術学Ⅱ分娩期	講師名	①専任教員(39) ②岡山医療ｾﾝﾀｰ助産師(6)	学年	1	履修期	第1学期
単　位	2単位						
時間数	45時間						
講師実務経験	①②助産師としての実務経験あり						
授業概要	分娩期における助産過程の展開に必要な診断と技法および助産の実践に必要な基本技術を習得する。						
授業科目目標	1. 正常な分娩経過を理解し、正常からの逸脱の予防と異常の早期発見、正常な分娩経過を促進するための知識と技術を習得できる。 2. ハイリスク症例の分娩を適切に支援するための知識と技術を習得できる。 3. 経膣分娩の生理を踏まえて、安全な分娩介助技術を習得できる。						
授業内容	講師①　25時間（試験1H含む） 第1回　1. 分娩期の助産診断と助産過程の展開（演習） 1）分娩期の助産診断、診断類型 2）分娩期の経過診断 分娩時期、経過の正常・異常の予測、胎児健康度 3）分娩期の健康生活診断 基本的ニード、心理的側面、社会的側面、出産育児行動 第2回　4）分娩期の助産診断（岡山桃子 事例） (1) 入院時の初期診断 分娩開始徴候、分娩開始の診断、入院判断、破水の診断 児娩出時間の予測、分娩経過の異常の予測 胎児健康度の診断、胎児心拍数図の判読 第3回　(2) 分娩第1期の診断とケア ①ケアプランの立案 ②助産診断の評価と修正およびそのタイミング ③内診の時期 第4回　(3) 分娩第2～3期の診断とケア ①子宮口全開大の徴候 ②分娩の準備（器材準備、分娩室移動、分娩体位） 第5回　(4) 分娩後2時間の診断とケア ①分娩の身体侵襲度の評価と全身観察と判断 ②母子早期接触の可否判断 ③歩行開始時期の判断と第1歩行開始時の観察 転倒防止のケア ④助産録の記載 第6回　2. 分娩期の正常から逸脱の診断とケア 1）前期破水 2）微弱陣痛、回旋異常、陣痛促進 第7回　3）胎児機能不全 CTG波形パターンとレベル判定 急速遂娩の必要なケース、急墜分娩とその方法 第8回　4）誘発分娩 (1) 誘発分娩の適応・要約・禁忌 (2) 子宮収縮薬の使用ガイドライン (3) 誘発分娩時の観察・ケア 予定日超過、妊娠高血圧症候群（事例） 第9回　5）産科危機的出血時の対応	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義					

【助産診断・技術学】

	第10回　3.分娩介助技術の理論 1）入院から分娩第1期の援助 (1) 基本的ニードの充足（栄養、排泄、睡眠・休息など） (2) 産痛緩和法、呼吸法 (3) 分娩促進ケア (4) 家族への支援 第11回　2）分娩直後から2時間（分娩第4期）の援助 (1) 全身観察 (2) 分娩第4期の過ごし方、産後オリエンテーション (3) バースレビュー 第12回　4.異常分娩の助産診断とケア 1）無痛分娩（麻酔分娩）のケア 講師②　6時間 第13回　2)帝王切開の母児のケア 第14回　3 双胎の経膣分娩の取り扱い 第15回　4)吸引分娩時の介助法 講師①　14時間 第16・17回　5.分娩期の臨床推論 1）知識整理：初産婦、前期破水 第18回　2）臨床思考：経産婦 第19・20回　3）臨床推論シミュレーション 電話場面～分娩終了 第21・22回　4）異常の臨床推論（3H） 異常分娩（回旋異常、分娩遷延、陣痛促進剤） 5）入院時の助産診断・ケアプラン記述（1H） 終了試験　1H	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 講義
評価方法	1.筆記試験80点（講師①　70点、講師②　10点） 2.助産診断記述テスト20点（講師①）	
テキスト	助産学講座7　助産診断・技術学Ⅱ分娩期・産褥期　医学書院 助産師基礎教育テキスト第5巻　分娩期の診断とケア　日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第7巻　ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア　日本看護協会出版会 マタニティ診断ガイドブック　第6版　医学書院	
参考書	今日の助産　南江堂 胎児心拍数モニタリング講座　メディカ出版 分娩介助学　第2版　医学書院 分娩のしくみと介助法　MEDCAL VIEW 産婦人科診療ガイドライン産科編 硬膜外無痛分娩　安全に行うために　改訂3版　南山堂	
学生への メッセージ	本講義では、事前学習が前提となって講義が進みますので、しっかり準備をして講義に臨むと理解が深まると思います。本講義後半の「臨床推論」では、臨床推論に至るまでに学んだことを臨地実習で活用できるよう統合し、分娩期における助産師の思考を学びます。	